

道徳のかけ橋

令和7年11月発行
第31号
福島県教育庁
義務教育課

「校内研修は何をしたらいいの…」「そんな時間は正直ない…、でも分からないこともある…」からはじめる

道徳だからこそできる校内研修のススメ

チームで指導力を高める「自分の学校ならではの」機会をつくる

「学校の全ての教職員」が参画できる

道徳教育の要である道徳科の指導は「学級担任の教師が行うことが原則」ですが、管理職や他の教職員が関わり合う指導体制が欠かせません。
教科の分け隔てなく、全教職員が参画できる「道徳だからこそできる」よさがあります。

みんなで話す話題をつくる

「職員室での雑談」「日々の授業参観」も研修のチャンス

教育課題が山積み、簡単に増やせない校内研修。でも、日々悩みはつきません…。「時間を設定」しないと研修はできないのでしょうか？日常に目を向けると、同僚との雑談にはざっくばらんに話せるよさ、隣の学級の授業や板書を見て学べるよさ等があります。

「『自分の学校ならではの』機会」と「話題」を考える



短い時間

できることを考える
集中力も高まる



集まるところ

職員会議や学年打合せ等
のすきま時間で「少し」雑談



時期を捉える

通知表所見を書く前等の
「迷い」が生じる時もチャンス



声を集める

先生方の生の声を得た方が、
必要感と実効性が高まる



(どのように)

(なぜするのか？)

「だったら、こんな指導ができるのでは…」と

Know-How だけではなく、Know-Why を学ぶと『様々な工夫』が生まれる



でも、話題を一から考えるのは大変です…

福島県教育庁義務教育課 HP

話題を
探しに

「福島県版『道徳教育アーカイブ』『道徳の礎』をのぞいてみよう



福島県版
「道徳教育アーカイブ」
(福島県教育庁義務教育課)



道徳の礎



「道徳の礎」には、『疑問や迷いから逆引きできるページ』『道徳科研修動画』を追加した他、学習指導案も掲載されています。



例えば、研修動画を教職員で視聴する研修はどうでしょう。「動画の授業者の指導のよさを見つける」という視点を設定して視聴し、感想を交流すれば、先生方の着目点の違いから、多様な指導方法の工夫を学ぶことができます。

実践事例から、校内研修の『機会』『話題』を**考えるタネ**を見つけよう

令和7年度道徳教育推進校でも、校内研修を工夫して実施しています。

伊達市立伊達小学校



キーワード

“短い時間で”教材研究

研修時間

研修の目的

児童の実態に応じて授業を構想する

10分

方針・思い

校長「道徳科の授業づくりについて、みんなで検討し、日々の授業力向上につなげたい」
推進教師「事後研究会を、全ての先生方が自分の授業づくりについて考える場にしたい」

研修の流れ

「自学級で」同じ教材、同じ内容項目で授業を行う場合、どのようなねらい、中心発問にするのかを考え交流する。

様子や声

「同じ内容項目で自分が授業を行うときに、どんな発問をするかよいのか考えやすくなった」

郡山市立大槻中学校



キーワード

“意識して道徳の話”をする

研修時間

研修の目的

道徳の授業づくりについて考える

5～50分

方針・思い

校長「先生方の強みを生かした道徳の授業づくりをしてほしい」
推進教師「先生方が行っている生徒の心を育てるための工夫を共有したい」

研修の流れ

示範授業やローテーション道徳の予定を週報で共有。授業の前後で授業について授業者や先生方と「ちょっとした会話」を交わす。

様子や声

「校長先生にアイディアや助言をいただけるのはありがたい」
「ちょっとした会話から授業づくりについての気付きがある」

矢吹町立三神小学校



キーワード

“短時間で” “どんなことでも”

研修時間

研修の目的

道徳科の授業作りや指導法について話して共に考える

10分

方針・思い

校長「チーム三神」の良さを生かし、指導力向上を図りたい」
推進教師「気軽に悩みを話せる場で、悩みを共有したい」

研修の流れ

道徳科の授業での素朴な疑問や悩みを共有する。
道徳科の授業を振り返ることで成果と改善ポイントを共有する。

様子や声

「先生方と話しているうちに、解決できることが多かった」
「自分でも実践してみようと思った」

喜多方市立塩川中学校



キーワード

“全教員で考える”道徳科の授業法

研修時間

研修の目的

自己を見つめ、深い学びを実現させるための道徳教育について考える。

30分

方針・思い

校長「相手の話をよく聴き自分の考えを深め、他者との関わりを深めるようにしたい」

研修の流れ

推進教師「互いに認め合える関係性を構築したい」
研究授業を全教員で参観し、自己を見つめるための工夫、他者の考えに触れさせる活動の工夫、考えを深めるための発問の工夫について、検討・協議する。

様子や声

「道徳の授業での校内研究はありがたい」「ローテーション道徳なので、みんなで授業参観・事後研究できるのは研修になる」

福島県立相馬総合高等学校



キーワード

“他校種”の道徳の授業づくりに学ぶ

研修時間

研修の目的

系統性を意識して道徳性を育むことができるようにする

60分

方針・思い

「教科指導や日々の教育活動の中で、子どもの道徳性の高まりをどのように見取り、価値付けるか、共通理解を図りたい」

研修の流れ

小・中学校の「特別の教科道徳」を模擬授業で体験し、日々の教科指導に生かせる働きかけについて、考えを交流する。

様子や声

「小・中学校の道徳の授業を体験できて、指導の具体がイメージできた」「日々の教科指導にも意識して取り入れていきたい」



小さな一歩でも、子どもと教師の笑顔につながる「着実な歩み」